

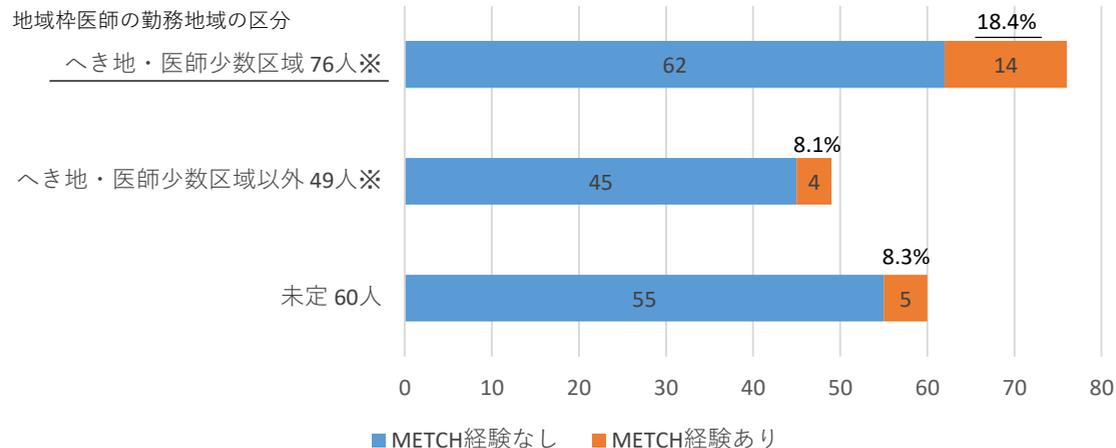
【意見1】 地域医療研修センターの受入数（中間アウトカム）が、地域でどれほど医師の増加（分野アウトカム）につながっているかが分かりにくい。

【対応】 地域枠医師の勤務地域を3つに分け、それぞれの区分で地域医療研修センター(METCH)での研修経験を調べたところ、へき地・医師少数区域での勤務を行った者(今後予定含む)において、同センターの臨床研修(地域医療)を経験した者の割合が高かった。(下表)

両者はある程度関連性があると考えられるため、地域枠医師が地域医療を理解し、勤務につなげられるよう同センターでの臨床研修(地域医療)を促進していきたい。

なお、同センター経験者のうち、地域枠医師以外の動向については捕捉できていないため、今後の課題としたい。

地域枠医師の勤務地域とMETCH経験の有無



対象：地域枠医師で、令和4年度に医師3年目～8年目である者 185名  
 ※すでに勤務した者及び今後勤務予定で、常勤・非常勤を含めた人数

## 第2回地域医療対策協議会の委員意見

【意見2】東紀州・志摩地域における、看護師の高齢化や特定行為研修・認定看護師の取得の状況、また今後の対応は。

### 【対応】

三重県の看護師の年齢構成は、全国平均と同じ（40歳代が最多）ですが、東紀州や志摩地域の看護師の年齢構成として公表されているデータはありません（令和2年衛生行政報告例）。

特定行為研修修了者については、東紀州・志摩地域で3名が、認定看護師については同地域で6名が、それぞれ勤務しています（日本看護協会調べ）。

引き続き、特定行為研修制度の周知・費用補助等により、専門性の高い看護師の養成に向けて取り組んでまいります。

## 今後のスケジュール（参考）

令和5年1月27日	第2回医療審議会
6年 1月	パブリックコメント
2月	第4回地域医療対策協議会（最終案の協議）
3月18日	第3回医療審議会